

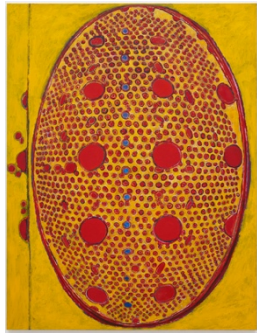
## テリー・ウィンタース：IMAGESPACE

ファーガス・マカフリー東京

2023年3月25日～5月20日

オープニング・レセプション：2023年3月25日 5-7pm

ファーガス・マカフリー東京は3月25日午後5時よりテリー・ウィンタース個展「IMAGESPACE」を開催します。作家来日のうえ、初日にはオープニング・レセプションを開催します。アーティストにとって東京弊廊で初の機会となる本展では、2022年に制作され、今回初めての発表となるリネンキャンバスの絵画3点、紙の絵画3点を展示します。

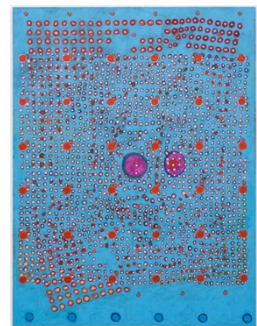


Yellow Ground, 2022

1970年初頭からウィンタースは現代の科学、工学、数学の理論や発見からインスピレーションを受けてきました。世界を把握する方法として視覚化されたデータへの依存がより顕著になるなか、ウィンタースの絵画には時代に呼応する新たな意義が見出されるようになりました。これらの歴史的な様々な着想から抽象へのアプローチを通して、ウィンタースは情報を抒情的で表現豊かな筆跡に合成していきます。これらのテーマ、そしてそれを現代的な意味合いの中で視覚化することへの絶え間ない関心は、彼の作品を万華鏡のように複雑で緊張感のあるものにしていきます。デイヴィッド・サーレが「ウィンタースは幅広い哲学、科学的なアイデアに関心を持

っているが、より切迫して直接的な問題意識はいかに視覚的なリズムを生み出し、そしてそれを使いこなすかというところにあるようだ。そして事実、ウィンタースは前史時代的なイメージ、そして時代を下ると、ピエト・モンドリアン、ジャクソン・ポロックなどにも共通する、音楽性と呼べる視覚的な資質を持っている」と記しています。

本展の中核をなすのは麻キャンバスに油彩、ワックス、レジンで描かれた新作3点です。「Yellow Ground」(2022)では赤と青の小さな泡が大きな円形の輪郭を押し広げながら融合しており、生物分子レベルの変容が示唆されています。「Point Array」(2022)では、これらの細胞のようなフォームは生物学的な宿主を突き破り、より幾何学的な配列に整っています。構図的には「Red Borders」(2022)が3作品のなかでは最も対称的で、システム化されています。血のような赤色の外縁部分がキャンバスの上下を占めて、等間隔に並ぶ赤の点がネットワークを作り出し、輝く黄色の領域を縁取っています。そこに大きな赤色の円が覆い被さり、下にあるタンポポのような黄色を、紺碧の青色に変化させています。これらの作品について作家は「生命力のある幾何学、絵画が体現することのできる抽象的なエネルギーを生み出すことに私は関心を持っているのです」と語っています。



Point Array, 2002

テリー・ウィンターズは1949年、ニューヨーク・ブルックリン生まれ。現在はニューヨークシティおよびコロンビア郡を拠点としている。日本の美術に深い親和を感じてきたウィンターズは、版画シリーズ「プリミティブ・セグメント」(Primitive Segments、1991年)と「トウキョウ・ノート」(Tokyo Notes、2005年)の制作のため2度日本で長期滞在を経験している。ドローイング・センター(ニューヨーク、2018年)、マサチューセッツ大学アマースト校・大学現代美術館(2018年)、ボストン美術館(2017年)、ルイジアナ近代美術館(デンマーク、2014年)、アイルランド現代美術館(2009年)、メトロポリタン美術館(ニューヨーク、2001年)、クンスタレ・バーゼル(2000年)、ホワイトチャペル・ギャラリー(ロンドン、1999年)、ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館(ロンドン、1998年)、ホイットニー美術館(ニューヨーク、1992年)、ロサンゼルス現代美術館(1991年)、ウォーカー・アート・センター(ミネアポリス、1987年)、テイト・ギャラリー(ロンドン、1986年)など重要美術館での個展多数。

#### ファーガス・マカフリーについて

ファーガス・マカフリーは2006年の設立以来、元永定正、白髪一雄、高松次郎など戦後日本美術の国際的な評価を確立するうえで中心的な役割を担ってきました。マーシャ・ハフィフ、ビルギット・ユルゲンセン、リチャード・ノナス、ジグマー・ポルケ、カロール・ラマなど独創性に富んだ気鋭の西洋作家の作品展示も行なっています。日本の美術や文化と深く沿うため2018年3月、ロバート・ライマン展を皮切りに東京・表参道にスペースを開設。ニューヨーク、東京、サンバルテルミ島の3箇所にギャラリースペースを持つ。

#### プレスに関するお問い合わせ：

Tel: 03 6447 2660

Email: [tokyo@fergusmccaffrey.com](mailto:tokyo@fergusmccaffrey.com)